

## 今日のトピック 自動車業界の2019年度4-6月期決算は？ 4-6月期の連結営業利益はトヨタが増益、ホンダと日産は減益

### 自動運転、電動化など次世代技術の研究開発投資や企業提携などを活発化

- 自動車大手3社の2019年度4-6月期の連結売上高と連結営業利益はトヨタ自動車が増収増益、ホンダと日産自動車は減収減益となりました。トヨタはハイブリッド車や中国での販売好調など独自要因を背景に増収増益となりました。ホンダはインドでの2輪車販売の減少などから減収減益となりました。
- トヨタグループの主要8社の4-6月期の連結決算は、中国景気減速の影響や次世代技術への先行投資負担などを背景に5社が増収ながら7社が営業減益となりました。
- トヨタは通期見通しについて売上高、営業利益を下方修正しましたが、為替前提の円高への変更が主因です。また、完成車、及び自動車部品各社ともにCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）と呼ばれる次世代技術に向け、研究開発投資や企業提携などを活発化しています。

#### 【自動車大手3社の連結業績】

企業名	売上高（億円）		営業利益（億円）		19年度為替想定（円） （円/米ドル）
	19年4-6月期	20年3月期見通し	19年4-6月期	20年3月期見通し	
トヨタ自動車	76,461 (+4)	295,000 (▲2)	7,420 (+9)	24,000 (▲3)	106
ホンダ	39,963 (▲1)	156,500 (▲2)	2,525 (▲16)	7,700 (+6)	110
日産自動車	23,724 (▲13)	113,000 (▲2)	16 (▲99)	2,300 (▲28)	110

#### 【トヨタグループ各社の連結業績】

企業名	売上高（億円）		営業利益（億円）		19年度為替想定（円） （円/米ドル）
	19年4-6月期	20年3月期見通し	19年4-6月期	20年3月期見通し	
デンソー	13,241 (▲1)	55,000 (+3)	691 (▲24)	3,800 (+20)	110
アイシン精機	9,631 (▲4)	39,700 (▲2)	255 (▲61)	1,600 (▲22)	108.75
豊田自動織機	5,512 (+6)	23,000 (+4)	317 (▲7)	1,450 (+8)	110
豊田通商	16,899 (+2)	*	557 (▲1)	2,370 (+10)	110
ジェイテクト	3,622 (▲4)	15,300 (+1)	103 (▲47)	700 (+5)	110
トヨタ紡織	3,518 (+0)	13,900 (▲2)	147 (▲1)	530 (▲13)	106
豊田合成	2,094 (+2)	8,450 (+1)	79 (▲24)	410 (+12)	110
愛知製鋼	639 (+3)	2,522 (▲2)	30 (+11)	100 (▲10)	111

(注1) カッコ内は前年同期比増減率、単位は%。トヨタ自動車は米国会計基準、ホンダ、デンソー、アイシン精機、豊田自動織機、豊田通商、トヨタ紡織、豊田合成は国際会計基準。

(注2) (\*) 豊田通商の売上高見通しは未公表。

(注3) トヨタ自動車の主要グループ8社は日本経済新聞社の分類による。為替想定は19年度の円/米ドル想定レート。

(出所) 各社決算資料データやQUICKのデータなどを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも  
チェック!

2019年6月20日 電気自動車（『EV』）で連携が加速  
2019年5月17日 『5G』が米韓で開始、自動運転・AIにも期待

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。